

改善が進む事が考えられ、有望な調査手法となることが考えられる。今後は、本研究により示された限界点や課題を克服し、より実用性の高いシステムに改善する必要がある。

## E. 発表論文等

(国際学会発表)

- 1) Noriyo Kaneko, Masahiro Yamamoto, Kyunghee-Choi, Yasuharu Hidaka, Seiichi Ichikawa: Cell phone survey using RDS to investigate MSM's social networks and HIV risk behaviors in Japan, The 8th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Sri Lanka, July. 2007.

(国内学会発表)

- 1) 金子典代、日高庸晴、市川誠一：携帯電話を用いた男性同性愛者の社会的ネットワークと HIV 感染リスクに関する調査，日本公衆衛生学会，2008 年 11 月，愛媛
- 2) 金子典代、山本政弘、佐藤未光、鬼塚哲郎、日高庸晴、市川誠一：携帯電話を用いたゲイ・バイセクシュアル男性の社会的ネットワークと HIV 感染リスクに関する調査，日本エイズ学会，2007 年 12 月，広島

別表4. 【東北】 対象者の背景 (N=60)

	n	%
<b>居住地域</b>		
仙台市	29	(48.3)
仙台市以外の宮城県	11	(18.3)
福島県	9	(15.0)
山形県	5	(8.3)
岩手県	2	(3.3)
青森県	3	(5.0)
秋田県	1	(1.7)
<b>年齢</b>		
10-20歳代	14	(23.3)
30歳代	33	(55.0)
40歳以上	13	(21.7)
<b>自認する性指向</b>		
ゲイ	48	(80.07)
バイセクシュアル	9	(15.0)
分からない・その他	3	(5.0)
<b>教育歴</b>		
高校	18	(30.0)
短期大学・専門学校	12	(20.0)
大学・大学院	29	(48.3)
無回答・非該当	1	(1.7)
<b>過去6ヶ月に利用したゲイ向けサービスの場所 (複数回答)</b>		
宮城県	42	(70.0)
福島県	6	(10.0)
山形県	3	(5.0)
岩手県	3	(5.0)
青森県	2	(3.3)
秋田県	1	(1.7)
東京都	19	(31.7)
その他	15	(25.0)
<b>過去6ヶ月に利用したもの (複数回答)</b>		
ゲイバー	36	(60.0)
ゲイナイト	14	(23.3)
サウナ系ハッテン場	7	(11.7)
マンション・ビデオハッテン	8	(13.3)
その他ハッテン場	8	(13.3)
ゲイショップ	18	(30.0)
ゲイ向け出会い系サイト	17	(28.3)
ソーシャルネットワーキングサイト	45	(75.0)
いずれも利用なし	5	(8.3)

別表5. 【東北】 やろっこの認知、エイズ検査受検 (N=60)

	n	%
やろっこを知っていますか？		
知っている	37	(61.7)
知らない	23	(38.3)
下記のイベントプログラムを知っていますか？ (複数回答)		
僕らの課外授業Living Together	24	(40.0)
男魂	17	(28.3)
やろっこ交流会	23	(38.3)
Love Beach Project	22	(36.7)
東北バレーボール大会	40	(66.7)
Future	21	(35.0)
郡山ゲイナイト	19	(31.7)
ぼくらの課外授業 web site	10	(16.7)
やろっこHP	16	(26.7)
やろっこブログ	6	(10.0)
いずれも知らない	9	(15.0)
やろっこのコンドーム受け取り経験		
あり	33	(55.0)
なし	27	(45.0)
やろっこのポストカードの受け取り		
あり	30	(50.0)
なし	30	(50.0)
エイズ検査受検経験		
ある	23	(39.0)
なし	36	(61.0)
無回答	1	(1.7)
過去一年エイズ検査受検		
受けた	13	(21.7)
過去1年に受けていない	11	(18.3)
非該当	36	(60.0)
一番最後のエイズ検査の受検場所		
病院	7	(11.7)
クリニック/診療所	1	(1.7)
保健所・保健センター	14	(23.3)
イベント検査	1	(1.7)
その他	1	(1.7)
非該当	36	(60.0)

別表6. 【東北】 性行動・予防行動 (N=60)

	n	%
<b>男性とのアナルセックス経験</b>		
あり	58	(96.7)
なし	2	(3.3)
<b>過去6ヶ月のアナルセックス経験</b>		
あり	33	(55.0)
なし	25	(41.7)
無回答	2	(3.3)
<b>過去6ヶ月の特定相手とのコンドーム使用</b>		
特定相手とアナルせず	4	(6.7)
毎回使った	11	(18.3)
毎回使うことが多かった	5	(8.3)
五分五分	2	(3.3)
使わない方が多かった	2	(3.3)
全く使わなかった	8	(13.3)
非該当	27	(46.7)
<b>過去6ヶ月のその場限り相手とのセックス時のコンドーム使用</b>		
その場限り相手とアナルせず	17	(28.3)
毎回使った	12	(20.0)
毎回使うことが多かった	3	(5.0)
五分五分	1	(1.7)
使わない方が多かった	0	(0.0)
全く使わなかった	0	(0.0)
無回答・非該当	27	(45.0)
<b>今後の特定相手とのコンドーム使用意図</b>		
毎回使いたい	15	(25.0)
できるだけ使いたい	11	(18.3)
あまり使いたくない	2	(3.3)
使いたくない	0	(0.0)
決めていない	5	(8.3)
非該当	27	(45.0)
<b>今後のその場限り相手とのコンドーム使用意図</b>		
毎回使いたい	27	(45.0)
できるだけ使いたい	6	(10.0)
あまり使いたくない	0	(0.0)
使いたくない	0	(0.0)
決めていない	0	(0.0)
非該当	27	(45.0)

別表7. 【東北】 性行動・予防行動 (N=60)

	n	%
最後のアナル相手		
特定	27	(45.0)
その場	6	(10.0)
無回答・非該当	27	(45.0)
最後のアナル時のコンドーム使用		
使った	13	(39.4)
使わなかった	14	(42.4)
無回答・非該当	6	(18.2)
HIVに感染する可能性の認識		
絶対ない	3	(5.0)
ほとんどない	18	(30.0)
五分五分	17	(28.3)
十分可能性がある	9	(15.0)
分からない	12	(20.0)
非該当	1	(1.7)
HIV感染者の知人・友人の有無		
いる	19	(31.7)
いると思う	8	(13.3)
いない	12	(20.0)
分からない	20	(33.3)
非該当	1	(1.7)
東北地域で過去6ヶ月にあったゲイ・バイセクシュアル友人人数 (平均±SD)	24.2±33.5 人	

別表8. 【九州】 対象者の背景 (N=62)

	n	%
<b>居住地域</b>		
福岡市	35	(56.5)
北九州市	4	(6.5)
福岡市、北九州を除く福岡県	17	(27.4)
福岡県・沖縄県以外の九州地域	6	(9.7)
<b>自認する性指向</b>		
ゲイ	59	(95.2)
バイセクシュアル	3	(4.8)
<b>年齢</b>		
10歳代	5	(8.1)
20歳代	28	(45.2)
30歳代	24	(38.7)
40歳以上	5	(8.1)
<b>教育歴</b>		
中学	0	(0.0)
高校	16	(25.8)
短期大学・専門学校	11	(17.7)
大学・大学院	34	(51.6)
<b>過去6ヶ月にどの地域のゲイ向け施設を利用したか</b>		
福岡市	61	(98.4)
北九州市	12	(19.4)
福岡市、北九州市を除く福岡県	0	(0)
沖縄県	3	(4.8)
福岡県、沖縄県以外の九州地域	7	(11.3)
その他	17	(27.4)
<b>過去6ヶ月に利用したもの</b>		
ゲイバー	58	(93.5)
ゲイナイト	36	(58.1)
サウナ系ハッテン場	16	(25.8)
マンション・ビデオハッテン	14	(22.6)
その他ハッテン場	6	(9.7)
ゲイショップ	36	(58.1)
ゲイ向け出会い系サイト	33	(53.2)
ソーシャルネットワーキングサイト	49	(79.0)
いずれも利用なし	0	(0.0)

別表9. 【九州】 検査受検・性行動 (N=62)

	n	%
生涯でのエイズ検査受検経験		
ある	41	(66.1)
ない	21	(33.9)
過去1年のエイズ検査の受検		
受けた	23	(37.1)
過去1年に受けていない	18	(29.0)
エイズ検査を受けた事がない	21	(33.9)
一番最後の検査の受検場所		
病院	7	(11.3)
クリニック/診療所	4	(6.5)
保健所・保健センター	28	(45.2)
イベント検査	1	(1.6)
郵送検査	1	(1.6)
エイズ検査を受けた事がない	21	(33.9)
男性とのアナルセックス経験		
あり	62	(100.0)
過去6ヶ月のアナルセックス経験 <sup>1)</sup>		
あり	49	(79.0)
なし	13	(21.0)
過去6ヶ月間のアナルセックス相手人数 (平均±SD)		1.9±0.7 人
過去6ヶ月の特定相手とのコンドーム使用		
特定相手とアナルせず	4	(6.5)
毎回使った	15	(24.2)
毎回使うことが多かった	10	(16.1)
五分五分	2	(3.2)
使わない方が多かった	8	(12.9)
全く使わなかった	10	(16.1)
無回答・非該当	13	(21.0)
過去6ヶ月その場限り相手とのセックス時のコンドーム使用		
その場限り相手とアナルせず	14	(22.6)
毎回使った	22	(35.5)
毎回使うことが多かった	10	(16.1)
五分五分	5	(8.1)
使わない方が多かった	3	(4.8)
全く使わなかった	4	(6.5)
無回答・非該当	13	(21.0)

別表10. 【九州】 検査受検・性行動 (N=62)

	n	%
<b>今後の特定相手とのコンドーム使用意図</b>		
毎回使いたい	24	(38.7)
できるだけ使いたい	21	(33.9)
あまり使いたくない	6	(9.7)
使いたくない	2	(3.2)
決めていない	9	(14.5)
<b>今後のその場限り相手とのコンドーム使用意図</b>		
毎回使いたい	49	(79.0)
できるだけ使いたい	11	(17.7)
あまり使いたくない	1	(1.6)
使いたくない	0	(0)
決めていない	1	(1.6)
<b>最後のアナル相手</b>		
特定	44	(71.0)
その場	17	(27.4)
無回答・非該当	1	(1.6)
<b>最後のアナル時のコンドーム使用</b>		
毎回使った	35	(56.4)
使わなかった	25	(40.3)
無回答・非該当	2	(3.2)
<b>HIVに感染する可能性の認識</b>		
絶対ない	7	(11.3)
ほとんどない	24	(38.7)
五分五分	14	(22.6)
十分可能性がある	12	(19.4)
わからない	5	(8.1)
<b>HIV感染者の知人・友人の有無</b>		
いる	15	(24.2)
いると思う	10	(16.1)
いない	20	(32.3)
分からない	17	(27.4)
<b>九州地域で過去6ヶ月にあったゲイ・バイセクシュアル友人人数 (平均±SD)</b>		
	42.3±40.5 人	



別表11. 【九州】 LAFの認知 (N=62)

	n	%
LAF (Love Act Fukuoka) 知っていますか？		
知っている	49	(79.0)
知らない	13	(21.0)
LAFを何で知りましたか？		)
配布されている condom	29	(46.8)
season (バーのマップ付きのペーパー)	24	(38.7)
コミュニティーセンターhaco	19	(30.6)
友達からのクチコミ	28	(45.2)
ゲイバーでのクチコミ	14	(22.6)
イベント (LAF主催以外)	13	(21.0)
LAFのHP	3	(4.8)
mixiの日記	10	(16.1)
mixi (LAFコミュニティー)	9	(14.5)
K@toom	12	(19.4)
その他	6	(9.7)
下記の condom 受け取り経験		
あり	52	(83.9)
なし	9	(14.5)
無回答・非該当	1	(1.6)
下記のコミュニティーペーパーを見た経験		
あり	52	(83.9)
なし	9	(14.5)
無回答・非該当	1	(1.6)
博多コミュニティーセンター「haco」を知っていますか？		
行ったことがある	33	(53.2)
知っている	16	(25.8)
知らない	13	(21.0)

## インターネットによる MSM の HIV 感染予防に関する行動疫学研究 —REACH Online 2007—

研究協力者：日高 庸晴（京都大学大学院医学研究科）、木村 博和（横浜市健康福祉局）  
市川 誠一（名古屋市立大学看護学部）

### 研究要旨

Men who have Sex with Men (MSM) のインターネット利用層における HIV 感染予防行動の動向把握とそれに関連する心理・社会的要因を明らかにすること、および経年的モニタリング実現のためのデータを蓄積していくことを目的に、MSM 対象のインターネット調査を実施した（調査実施期間：2007 年 8 月 1 日～2008 年 1 月 7 日）。

学校教育現場において、全体の 90%以上は同性愛について不適切な情報提供や対応をされている現状が示され、この結果は 1999 年調査（n=1,025）、2005 年調査（n=5,731）と全く同様の結果であった。また、エイズ予防教育においても男性同性間の予防については学校教育現場で情報提供がほとんどされていない現状があることが 2005 年調査同様に示唆された。

過去 6 ヶ月間の男性とのセックス経験割合は 87%であり、そのうち 81%は過去 6 ヶ月間にアナルセックスの経験があり、コンドーム常用割合は全体で 33%であった。過去 1 年間の HIV 抗体検査受検割合は全体で 22.6%であり、都市部在住者と 20 代～30 代の受検割合はほかと比べて高かった。

仙台・東京・名古屋・大阪・博多で展開されているコミュニティベースの HIV 予防啓発活動の認知割合は、予防啓発を行っている当該地域においてのみ比較的高く、啓発活動がそれぞれの地域に浸透しつつあることが示唆された。

定期的に全国規模のインターネット調査を実施することにより、MSM の HIV 感染リスク行動やそれに関連する行動の実態把握のためのモニタリングとなり、経年変化の比較も可能となる。オンラインによる行動疫学サーベイランスから得られた知見をもとに、実態に即した HIV 予防啓発・介入を集中的に実施・展開していく必要があるだろう。

### A. 研究目的

日本国籍新規 HIV 感染者の感染経路の半数以上が男性同性間性的接触である現在、Men who have Sex with Men (MSM) を対象にした行動疫学調査を実施することを通じて、HIV 感染リスク行動の実態を把握することがより重要となってきた。わが国では 1999 年以降ほぼ隔年毎に MSM を対象にした全国インターネット調査を実施しており、1 万人弱のデータが蓄積されている。インターネッ

トを用いることにより、コミュニティベースや対面式による質問票調査や面接調査では研究参加協力を得ることが難しい対象層から回答を得ることが期待され、より広範に MSM の実態把握が可能となると考えられる。よって本研究の目的は、1) MSM のインターネット利用層における HIV 感染予防行動の動向把握とそれに関連する心理・社会的要因を明らかにすること、2) 経年的モニタリング実現のためのデータを蓄積していくこと

である。

## B. 研究方法

これまでに男性とセックスの経験がある男性を対象に、無記名自記式質問票調査法によるインターネット調査を実施した。調査実施にあたって、オンラインインフォームドコンセントの後に質問票に回答するシステムを構築した。研究デザインは横断調査であり実施時期は2007年8月1日～2008年1月7日である。

インターネット調査を実施する上で最も重要なことのひとつは回答データのセキュリティ確保である。調査研究専用のホームページは、セキュリティ機能の付加されたhttpプロトコルであるSecure Socket Layer (SSL)によって保護することによって、研究参加者が回答したデータを暗号化してサーバに送信、情報漏洩防止策とした。研究に用いたサーバはRedundant Array of Inexpensive Disks (RAID)機能を有しており、不測の事態によりサーバのディスクが停止した場合も代替ディスクによりシステムが正常に稼働するように配慮した。また、重複回答の防止とそのスクリーニングを目的に、cookie機能を活用した。

質問項目はインターネット利用目的、これまでの学校教育や生育歴、メンタルヘルス (CES-Dによる抑うつスクリーニング) HIV/STI一般知識、HIV感染予防行動に関する心理的態度、過去6ヶ月間の性行動 (男性との性経験割合、アナルセックス経験割合、アナルセックスにおけるコンドーム常用割合、ハッテン場など施設利用などによる性的活動状況)、HIV抗体検査受検行動 (過去1年間、これまで)、性感染症既往歴 (これまで、過去1年)、HIV感染の身近感、仙台・東京・名古屋・大阪・博多におけるコミュニティベースのMSM対象のHIV予防啓発活動の認知度、基本属性などによって構成した。インターネッ

ト調査実施の告知は、ゲイサイトへのバナー広告掲載、mixiなどソーシャルネットワークサービスおける口コミ、Yahoo オーバチュアによるインターネット広告、Mailing List (ML)、ゲイ雑誌、ゲイ HIV 対策 CBO 制作のニューズペーパー等を通じて行った。なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会による研究計画の審査・指針に基づいて実施した。

## C. 研究結果

総回答数6,776件、有効回答は6,282件であった。平均年齢は31.47歳 (標準偏差9.5、中央値30.0、最少年齢13～最高年齢83歳)であった。居住地域は関東地方20.7%、東京都23.4%が大半を占め、大阪府9.4%、近畿地方8.3%と都市部からの回答が多かった (表1)。研究参加者の年齢分布は20代39.6%、30代35.6%、40代13.0%、10代6.5%、50代以上4.9%であった。自認する性的指向はゲイ69.0%、バイセクシュアル24.7%であった。学歴は大学卒以上が55.3%、職業はフルタイムの社会人が61.3%、未婚者は87.4%であった。その他の基本属性は表3～5に示す。

本研究の実施を知ったきっかけはバナー広告73.5%、mixi9.7%、ゲイ雑誌1.3%、メーリングリスト1.2%、フライヤー0.5%、その他12.2%であった。本研究はMSMを対象に毎年実施しているインターネット調査・予防介入研究 Researching Epidemiological Agenda for Community Health (REACH) Online の一連のシリーズとして実施しており、2005年および2006年に実施した研究の後続研究である。先行調査である2005年および2006年実施の研究参加割合はそれぞれ7.5%、6.9%であった。

対象者のmixi利用割合は全体で62.5%であり、利用割合は年齢階級と有意であり、20代、10代、30代、40代、50代以上の順に利用経験割合が高いことがわかった。また利用

者のうち 44%はマイミクの人数が 20 人以上であった。

#### 学齢期における出来事

インターネット利用目的は「ゲイ・バイセクシュアルの友達を作ること」60.6%、「男性同士のセックスに関する情報を得ること」52.8%、「男性のセックスの相手を探すこと」50.4%、「ゲイ・バイセクシュアルの恋人を作ること」40.1%、「買い物」48.3%、「仕事に関する情報を得ること」37.8%、「性感染症に関する情報を得ること」23.8%、「その他」37.8%であった。

「これまでの学校教育で同性愛についてどのような情報を得ましたか」という設問に対し、全体の 90%以上は同性愛に関して不適切な対応をされた経験があることが示され、その結果は 1999 年調査、2005 年調査と同様の傾向であった。また、実際の対応については年齢階級と有意であり、10 代は「同性愛について肯定的な情報」を得た者の割合がほかの年齢階級よりも最も多い一方で、「同性愛について否定的な情報」を得た者の割合も最も多いことが示された（表 6）。

「異性間のエイズ予防教育」については全体の 47.1%（年齢階級別では 10 代 89.5%、20 代 73.8%、30 代 29.3%）が受けていたが、その一方で「男性同性間のエイズ予防教育」については全体の 11.5%（年齢階級別では 10 代 24.3%、20 代 16.4%、30 代 6.9%）にとどまっていた。

#### 生育歴における出来事

「ゲイ・バイセクシュアルであると気づいたとき、そのことを悩んだ」経験は全体の 67.2%（年齢階級別では 10 代 71.3%、20 代 69.3%、30 代 66.7%、40 代 64.4%、50 代以上 58.2%）であった。その他生育歴における出来事は表 7 に示す。

#### メンタルヘルス

CES-D による抑うつスクリーニングの結果、抑うつ割合は全体で 43.8%であり年齢階級と有意であり若年層ほど抑うつ傾向が顕著であることが示唆されたが居住地域との関連はなかった（表 8、23）。また、ローゼンバーグによるセルフエスティーム尺度の結果、セルフエスティーム得点は年齢階級と有意であり、若年層の方が、セルフエスティームが低い傾向にあることが示された。これらのメンタルヘルスの健康状態の測定結果は、MSM 対象国内先行研究の結果と同様のものであり、再現性のある結果であった。

#### HIV/STI 一般知識

HIV/STI 一般知識は年齢階級と有意であり、年齢層によって正答割合が高い項目と逆に低い項目と違いがみられ（表 9）、6 ヶ月間の性的活動状況との関連もみられた（表 33）。

HIV 性感染症予防に関する心理的態度のほぼ全ての項目が年齢階級と有意であり（表 10）、過去 6 ヶ月間の性的活動状況との有意な関連もみられた（表 34）。

#### 過去 6 ヶ月間の性行動

全体の 87.1%が過去 6 ヶ月間に男性とセックス経験があり（ここで言うセックスとは、フェラチオ、アナルセックス、相互マスターベーションと定義）、年齢階級と有意であり 20 代と 30 代の経験割合が最も高く（表 11）、居住地域とも有意な関連があり東京都在住者など都市部在住者の経験割合が高かった（表 24）。また、過去 6 ヶ月間に男性とセックス経験がある者におけるアナルセックス経験割合は、全体で 81.7%、年齢階級と有意であり若年層の経験割合が高かった（表 12）。また、アナルセックス時におけるコンドーム常用割合は全体で 33.3%であり年齢階級と有意な関連にあり、30 代の常用割合が最も高かった（表 13）。

過去6ヶ月間の性的活動状況（施設利用状況等）は年齢階級および居住地域と有意な関連があった（表14、25）

#### HIV抗体検査受検経験割合

過去1年間のHIV抗体検査受検経験割合は年齢階級および居住地域と有意であり、20代～30代あるいは都市部在住者の経験割合が高かった（表15、26）。この傾向は生涯受検経験割合においても同様であった。またその受検場所は保健所が最多であった（表16～17、27～28）

#### 性感染症の既往歴

過去1年間のおよび生涯における性感染症の既往歴では梅毒が最多であり、次いでB型肝炎、クラミジアであり、年齢階級および居住地域と有意であった（表18～20、29～31）。

#### HIV感染の身近感

自分自身の周囲にHIVに感染している人が実際にいるか、あるいは自分自身に感染の可能性があるかどうか「HIV感染の身近感」に関する項目は、年齢階級および過去6ヶ月間の性的活動状況との有意な関連が示された（表21、33）

#### コミュニティベースの予防介入プロジェクトおよびHIV感染施策認知割合

厚生労働省エイズ対策研究事業として実施されている数多くのHIV対策事業の中、当該研究班の一部として仙台（THCGV やろっこ）、東京（Rainbow Ring, コミュニティセンターakta）、名古屋（Angel Life Nagoya, コミュニティセンターrise）、大阪（MASH 大阪、コミュニティセンターdista）、博多（Love Act Fukuoka, コミュニティセンターhaco）で展開されているコミュニティベースのボランティア団体（Community Based Organization）の認知割合（知名度）や各CBOが配付している

コミュニティペーパー（ニュースレター）や予防啓発活動の認知割合について尋ねた。これらの認知割合は年齢階級および居住地域と有意な関連がみられた。

#### D. 考察

実施回数を重ねる毎に研究参加者数が拡大してきたMSM対象の全国インターネット調査であるが、今年度の研究参加者は過去最多となりアジア太平洋地域におけるMSMインターネット研究においても最大のものとなった。調査の実施を継続することによって、MSMの抱える健康問題について多角的に分析可能となると同時に経年的モニタリングの機能を持たせることが出来る。

教育現場における同性愛についての情報提供は1999年および2005年調査同様に全体の90%以上が不適切な扱いを受けている現実が三度示された。これは再現性のある実証データであり、同性愛をはじめとした異性愛以外の性的指向に関する情報提供が教育現場で圧倒的に不足していることを示唆している。また、エイズ予防教育においても男女間の感染についての予防教育の実施が盛んである一方で、感染経路が男性同性間であることは教育現場でほとんど扱われていないことが示唆された。この結果は2005年調査と全く同様であり、わが国のHIV感染の拡大状況が教育現場において正しく取り扱われるように、関連機関に対して働きかけをすることも今後必要であろう。

メンタルヘルスのスクリーニングのために抑うつとセルフエスティームの程度を測定した。国内先行研究の結果と全く同じ傾向であり、若年層はメンタルヘルスが悪い傾向にあった。

HIV/STI一般知識は年齢階級や性的活動状況と有意な関連が認められたため、知識が不足する対象には実態に応じた対応をする必要がある。

過去6ヶ月間の男性とのセックス経験割合は2005年調査と同程度であったが、同期間中におけるアナルセックス経験者割合は80%を超えており、これまでのインターネット調査の結果と比較しても高率であった。また、コンドーム常用割合が年齢階級や過去6ヶ月間のセックスの人数と有意な関連がある点もこれまでの知見と全く同じであり、再現性のある結果であった。

HIV抗体検査受検割合においてもこれまでの調査結果とほぼ同様であり、受検場所は保健所である場合が最多であった。これらのことから保健師ら検査担当者は、抗体検査受検時はHIV予防介入と行動変容支援の重要な機会と捉え、MSMに対して適切な対応を提供する必要があるだろう。

CBOによるコミュニティベースの予防啓発活動の認知割合は、当該地域において他地域よりも有意にそれが高く、活動が地域でよく知られ浸透しつつあることが示唆された。

## E. 結語

HIV予防対策に資するために、MSMの生育歴や心理・社会的背景を理解すると共に、コンドーム常用の阻害要因を改善するHIV対策の実施が急務である。また、今後もオンラインによる行動疫学サーベイランスの実施を通じて、MSMの現状把握やHIV感染に関連するリスクについて今後も経年的に捕捉していく必要がある。

## F. 発表論文等

(研究論文等)

- 1) 日高庸晴：社会調査から見た性的指向と健康問題，女性学評論，21号 p.p. 49-66，神戸女学院大学女性学インスティテュート，2007年
- 2) 日高庸晴：西日本A市における未就学児の子育て環境と待機児童に関する調査研究，神戸女学院大学論集，第54号1号 p.p. 85-94，神戸女学院大学研究所，2007年

(国内学会発表)

- 1) 金子典代、日高庸晴、市川誠一：携帯電話を用いた男性同性愛者の社会的ネットワークとHIV感染リスクに関する調査，第66回日本公衆衛生学会総会，2007年10月、愛媛
- 2) 日高庸晴、古谷野淳子、安尾利彦、木村博和、鎌倉光宏、市川誠一：認知行動療法によるMSMを対象としたインターネットHIV予防介入研究－第1報 RCTによるプログラムの効果評価、第21回日本エイズ学会学術集会，2007年11月，広島
- 3) 古谷野淳子、日高庸晴、安尾利彦、木村博和、鎌倉光宏、市川誠一：認知行動療法によるMSMを対象としたインターネットHIV予防介入研究－第2報 プログラムへの関与度維持の要因、第21回日本エイズ学会学術集会，2007年11月，広島
- 4) 金子典代、山本政弘、佐藤未光、鬼塚哲郎、日高庸晴、市川誠一：携帯電話を用いたゲイ・バイセクシュアル男性の社会的ネットワークとHIV感染リスクに関する調査，第21回日本エイズ学会学術集会，2007年11月，広島
- 5) 大阪地域にMSMにおけるHIV感染の変遷 公衆衛生の視点2008年2月2日、大阪大学医学部大阪大学大学院医科学修士課程健康政策学各論授業・社会環境医学セミナー

(国際学会発表)

- 1) Kamakura M, Komatsu R, Ikegami K, Kimura K, Hidaka Y: An Analysis of Recent Different Trends of HIV Infection in Developed Countries. 7th International Congress on AIDS in the Asia and the Pacific, 2005. 7. 3., Kobe
- 2) Kaneko N, Yamamoto M, Choi KH, Hidaka Y, Ichikawa: SCell phone survey using RDS too investigate MSM's social networks and HIV risk behaviors in Japan, 8th International Congress on AIDS in the Asia and the Pacific, Sri Lanka

表 1 REACH Online 2007 研究参加者の居住地

居住地	n	%
北海道・東北地方	479	7.6
関東地方	1,298	20.7
東京都	1,468	23.4
信越・北陸地方	186	3.0
東海地方	241	3.8
愛知県	343	5.5
近畿地方	523	8.3
大阪府	592	9.4
中国・四国地方	378	6.0
九州・沖縄地方	376	6.0
福岡県	316	5.0
無回答	82	1.3
全体	6,282	100

表 2 研究参加者の年齢分布 平均年齢 31.47 歳 (SD=9.5)

年齢階級	n	%
10 代	13 歳—19 歳	408 6.5
20 代	20 歳—29 歳	2,488 39.6
30 代	30 歳—39 歳	2,237 35.6
40 代	40 歳—49 歳	818 13.0
50 代以上	50 歳—83 歳	306 4.9
無回答		25 0.4
全体		6,282 100

表 3 基本属性

基本属性	n	%
自認する性的指向		
ゲイ	4,334	69.0
バイセクシュアル	1,549	24.7
ヘテロセクシュアル	47	0.7
決めたくない	175	2.8
判らない	140	2.2
その他	13	0.2
無回答	24	0.4
学歴		
大学院修了(在)	525	8.4
大学卒(在)	2,944	46.9
短大卒(在)	167	2.7
専門学校卒(在)	954	15.2
高校卒(在)	1,458	23.2
中学卒(在)	213	3.4
無回答	21	0.3
職業		
学生	1,047	16.7
パートタイム	630	10.0
フルタイム	3,850	61.3
無職	300	4.8
その他	425	6.8
無回答	30	0.5
婚姻形態		
未婚	5,490	87.4
既婚	519	8.3
別居中	24	0.4
離婚	203	3.2
死別	16	0.3
無回答	30	0.5
恋人がいる		
相手が男性	2,612	41.6
セックスフレンドがいる		
相手が男性	2,102	33.5
心を許せるゲイ・バイセクシュアルの友達		
いる	3,972	63.2
心を許せる異性愛の友達		
いる	3,570	56.8

表 4 基本属性(続き)

基本属性	n	%
肝炎予防ワクチン接種あり		
A 型	186	3.0
B 型	384	6.1
結核既往歴		
既往歴あり	103	1.6
過去 1 年間の献血		
あり	737	11.7
親へのカミングアウト		
カミングアウトしている	926	14.7
以下、カミングアウトしている人におけるその相手の種別		
両親ともに	498	7.9
母親のみ	389	6.2
父親のみ	39	0.6
親以外へのカミングアウト		
カミングアウトしている	2,797	44.5
以下、カミングアウトしている人におけるその人数		
1 人だけ	520	8.3
2 人~3 人	681	10.8
4 人~5 人	429	6.8
6 人~9 人	205	3.3
10 人以上	870	13.8
過去 6 ヶ月間にコンドームを買ったこと		
あり	2,423	38.6
過去 1 年間にコンドームを買ったこと		
あり	3,127	49.8
スポーツクラブ		
入会している	1,584	25.2
喫煙状況		
吸わない	3,606	57.4
時々吸う	333	5.3
毎日吸う	2,322	37.0
飲酒状況		
飲まない	1,722	27.4
時々飲む	3,643	58.0
毎日飲む	894	14.2
過去 1 年間の海外旅行		
旅行あり	1,649	26.2
以下、旅行ありの人における		
旅先でのセックス経験		
現地で知り合った男性とセックスあり	387	6.2

表 5 基本属性(政治に望むこと)

基本属性	n	%
日本に同性婚の制度があればいいと思う		
そう思う	3,702	58.9
そう思わない	649	10.3
どちらとも言えない	1,894	30.1
日本に LGBT 当事者の政治家がいた方が		
いいと思う		
そう思う	3,759	59.8
そう思わない	417	6.6
どちらとも言えない	2,062	32.8

表6. これまでの学校教育(授業など)で、同性愛について得た情報(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
これまでの学校教育(授業など)で、同性愛について一切習っていない	237 (58.1)	1,742 (70.0)	1,850 (82.7)	708 (86.6)	250 (81.7)	21 (84.0)	4,808 (76.5)
これまでの学校教育(授業など)で、同性愛について「異常」なものとして習った	23 (5.6)	102 (4.1)	96 (4.3)	34 (4.2)	22 (7.2)	3 (12.0)	280 (4.5)
これまでの学校教育(授業など)で、同性愛について否定的な情報を得た	59 (14.5)	294 (11.8)	185 (8.3)	57 (7.0)	23 (7.5)	1 (4.0)	619 (9.9)
これまでの学校教育(授業など)で、同性愛について肯定的な情報を得た	72 (17.6)	271 (10.9)	68 (3.0)	11 (1.3)	7 (2.3)	0 (0)	429 (6.8)
その他	16 (3.9)	70 (2.8)	33 (1.5)	6 (0.7)	2 (0.7)	0 (0)	127 (2.0)

表7. 生育歴における出来事(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
これまでの学校教育(授業など)で、異性間のエイズ予防について情報を得たことがある	365 (89.5)	1,835 (73.8)	656 (29.3)	62 (7.6)	31 (10.1)	9 (36.0)	2,958 (47.1)
これまでの学校教育(授業など)で、男性同性間(男性同士)のエイズ予防について情報を得たことがある	99 (24.3)	407 (16.4)	154 (6.9)	39 (4.8)	22 (7.2)	1 (4.0)	722 (11.5)
これまでに、自分がゲイ・バイセクシュアルであると気付いたとき、そのことを悩んだりしたことがある	291 (71.3)	1,724 (69.3)	1,492 (66.7)	527 (64.4)	178 (58.2)	12 (48.0)	4,224 (67.2)
これまでに、自分の性的指向について、相談したいと思ったことがある	240 (58.8)	1,303 (52.4)	988 (44.2)	340 (41.6)	118 (38.6)	8 (32.0)	2,997 (47.7)
これまでに、自分の性的指向について誰かに相談したことがある	153 (37.5)	686 (27.6)	398 (17.8)	129 (15.8)	43 (14.1)	3 (12.0)	1,412 (22.5)
これまでに、結婚のプレッシャーを感じたことがある	138 (33.8)	1,047 (42.1)	1,272 (56.9)	505 (61.7)	139 (45.4)	14 (56.0)	3,115 (49.6)
これまでに、男性とセックスをした後に、罪悪感を感じたことがある	167 (40.9)	1,052 (42.3)	894 (40.0)	320 (39.1)	106 (34.6)	10 (40.0)	2,549 (40.6)
これまでに、「ホモ・おかま・おとこおんな」といった言葉でいじめられたことがある	221 (54.2)	1,328 (53.4)	1,339 (59.9)	492 (60.1)	139 (45.4)	12 (48.0)	3,531 (56.2)
これまでに、上記の言葉「ホモ・おかま・おとこおんな」以外でいじめられたことがある	157 (38.5)	956 (38.4)	952 (42.6)	337 (41.2)	89 (29.1)	6 (24.0)	2,497 (39.7)
これまでの学校生活で、特に用事がないのに保健室に行ったことがある	193 (47.3)	921 (37.0)	637 (28.5)	206 (25.2)	39 (12.7)	6 (24.0)	2,002 (31.9)

表8. 抑鬱割合(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
抑鬱あり	240 (58.8)	1,220 (49.0)	920 (41.1)	291 (35.6)	71 (23.2)	10 (40.0)	2,752 (43.8)

表9. HIV/STI一般知識の正当割合(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
新しいエイズの薬で、HIVに感染しても長く生きることが可能になった	243 (59.6)	1,644 (66.1)	1,581 (70.7)	585 (71.5)	199 (65.0)	13 (52.0)	4,265 (67.9)
通常のエイズ検査では、感染から2~3日後に、感染しているかどうかわかる	304 (74.5)	1,862 (74.8)	1,775 (79.3)	627 (76.7)	192 (62.7)	17 (68.0)	4,777 (76.0)
HIVウイルスに感染しても、10年近くは目立った自覚症状がない	278 (68.1)	1,470 (59.1)	1,206 (53.9)	434 (53.1)	176 (57.5)	11 (44.0)	3,575 (56.9)
性感染症に感染していると、HIVに感染しやすくなる	218 (53.4)	1,587 (63.8)	1,557 (69.6)	507 (62.0)	140 (45.8)	14 (56.0)	4,023 (64.0)
梅毒はアナルセックスだけでなく、フェラチオやリミング(ケツなめ)でも感染する	302 (74.0)	1,913 (76.9)	1,802 (80.6)	646 (79.0)	209 (68.3)	15 (60.0)	4,887 (77.8)
HIV迅速検査やHIV自宅検査キットでは、感染していなくても感染しているという結果が出ることもある	188 (46.1)	1,423 (57.2)	1,358 (60.7)	445 (54.4)	111 (36.3)	8 (32.0)	3,533 (56.2)
薬の効かないHIVウイルスが出てきている	192 (47.1)	1,270 (51.0)	1,300 (58.1)	487 (59.5)	136 (44.4)	10 (40.0)	3,395 (54.0)
B型肝炎はワクチンで予防することができる	134 (32.8)	769 (30.9)	806 (36.0)	278 (34.0)	84 (27.5)	6 (24.0)	2,077 (33.1)



表10. HIV感染予防行動に関する心理的態度(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
病気の予防も大切だけど、予防以上に相手とナマでつながりたいと思う p=.001	296 (72.5)	1,581 (63.5)	1,422 (63.6)	525 (64.2)	219 (71.6)	14 (56.0)	4,057 (64.6)
コンドームを使うと、気まずい感じになるのではないかと不安に思う p<.001	149 (36.5)	685 (27.5)	587 (26.2)	233 (28.5)	117 (38.2)	10 (40.0)	1,781 (28.4)
セックスしてくれるなら、コンドームを使わないでもいいと思う p<.001	175 (42.9)	845 (34.0)	774 (34.6)	315 (38.5)	167 (54.6)	11 (44.0)	2,287 (36.4)
好きな相手だから、コンドームを使わないでもいいと思う p<.001	285 (69.9)	1,566 (62.9)	1,319 (59.0)	477 (58.3)	203 (66.3)	15 (60.0)	3,865 (61.5)
コンドームは相手との距離感を感じさせるものだと思う p<.001	131 (32.1)	696 (28.0)	649 (29.0)	289 (35.3)	134 (43.8)	10 (40.0)	1,909 (30.4)
コンドームが手元にあっても使わないことがある p<.001	164 (40.2)	967 (38.9)	910 (40.7)	362 (44.3)	169 (55.2)	12 (48.0)	2,584 (41.1)
コンドームを使って欲しいと言ったけど、相手が使ってくれなかったことがある p=.531	107 (26.2)	649 (26.1)	532 (23.8)	202 (24.7)	79 (25.8)	5 (20.0)	1,574 (25.1)
コンドームを使って欲しいと言って、相手が使ってくれたことがある p=.021	324 (79.4)	2,036 (81.8)	1,886 (84.3)	683 (83.5)	239 (78.1)	21 (84.0)	5,189 (82.6)
セックスの相手が見つからないと、自信をなくしてしまう p=.043	200 (49.0)	1,291 (51.9)	1,242 (55.5)	436 (53.3)	151 (49.3)	12 (48.0)	3,332 (53.0)
コンドームを使いたいと言うと、「HIVに感染しているのではないか？」と相手から疑われるのではないかと心配になる p<.001	113 (27.7)	467 (18.8)	415 (18.6)	160 (19.6)	65 (21.2)	9 (36.0)	1,229 (19.6)
「HIVに感染してもかまわない」と思う p=.638	69 (16.9)	373 (15.0)	327 (14.6)	108 (13.2)	44 (14.4)	3 (12.0)	924 (14.7)
「元気に長生きしたい」と思う p=.004	334 (81.9)	2,010 (80.8)	1,800 (80.5)	687 (84.0)	272 (88.9)	21 (84.0)	5,124 (81.6)
「あまり長生きはしたくない」と思う p<.001	204 (50.0)	1,439 (57.8)	1,340 (59.9)	444 (54.3)	135 (44.1)	13 (52.0)	3,575 (56.9)

表11. 過去6ヶ月間の男性とセックス経験割合(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
過去6ヶ月間に男性とセックスをした p<.001	342 (83.8)	2,218 (89.1)	1,955 (87.4)	686 (83.9)	254 (83.0)	17 (68.0)	5,472 (87.1)

表12. 過去6ヶ月間に男性とセックス経験がある者におけるアナルセックス経験(年齢階級別)

	10代 n=342	20代 n=2,218	30代 n=1,955	40代 n=686	50代以上 n=254	無回答 n=17	全体 n=5,472
アナルセックスをした p=.030	287 (83.9)	1,842 (83.0)	1,579 (80.8)	551 (80.3)	194 (76.4)	16 (94.1)	4,469 (81.7)

表13. 過去6ヶ月間にアナルセックス経験がある者におけるコンドーム常用割合(年齢階級別)

	10代 n=287	20代 n=1,842	30代 n=1,579	40代 n=551	50代以上 n=194	無回答 n=16	全体 n=4,469
コンドームの常用 p<.001	82 (28.6)	623 (33.8)	592 (37.5)	176 (31.9)	34 (17.5)	5 (31.2)	1,512 (33.8)

表13-2. 過去6ヶ月間にアナルセックス経験がある者におけるコンドーム常用割合(過去6ヶ月間の性的活動状況別)

	1人 n=812	2-3人 n=1,147	4-5人 n=793	6人以上 n=1,542	無回答 n=175	全体 n=4,469
コンドームの常用 p<.001	253 (31.2)	437 (38.1)	279 (35.2)	485 (31.5)	58 (23.7)	1,512 (33.3)

表14. 過去6ヶ月間の性的活動状況(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
サウナ系ハッテン場に行ったことがある	39 (9.6)	551 (22.1)	770 (34.4)	329 (40.2)	126 (41.2)	10 (40.0)	1,825 (29.1)
ビデオ・ボックス系ハッテン場に行ったことがある	30 (7.4)	333 (13.4)	362 (16.2)	117 (14.3)	23 (7.5)	4 (16.0)	869 (13.8)
マンション系ハッテン場に行ったことがある	51 (12.5)	649 (26.1)	598 (26.7)	161 (19.7)	24 (7.8)	8 (32.0)	1,491 (23.7)
野外系ハッテン場(公園やトイレなど)に行ったことがある	71 (17.4)	630 (25.3)	647 (28.9)	213 (26.0)	82 (26.8)	8 (32.0)	1,651 (26.3)
一般銭湯/スーパー銭湯に行ったことがある	195 (47.8)	1,528 (61.4)	1,506 (67.3)	500 (61.1)	182 (59.5)	13 (52.0)	3,924 (62.5)
クラブ(男女mix)に行ったことがある	47 (11.5)	585 (23.5)	343 (15.3)	71 (8.7)	26 (8.5)	7 (28.0)	1,079 (17.2)
クラブ(男only)に行ったことがある	47 (11.5)	563 (22.6)	434 (19.4)	89 (10.9)	35 (11.4)	8 (32.0)	1,176 (18.7)
お金を払って男性とセックスしたことがある	5 (1.2)	216 (8.7)	344 (15.4)	153 (18.7)	61 (19.9)	4 (16.0)	783 (12.5)
お金をもらって男性とセックスしたことがある	83 (20.3)	270 (10.9)	104 (4.6)	28 (3.4)	10 (3.3)	3 (12.0)	498 (7.9)
ゲイバーに行ったことがある	111 (27.2)	1,221 (49.1)	1,187 (53.1)	413 (50.5)	140 (45.8)	10 (40.0)	3,082 (49.1)
インターネットで知り合った男性とセックスしたことがある	260 (63.7)	1,422 (57.2)	1,117 (49.9)	370 (45.2)	145 (47.4)	8 (32.0)	3,322 (52.9)
携帯出会い系サイトで知り合った男性とセックスしたことがある	212 (52.0)	1,098 (44.1)	679 (30.4)	191 (23.3)	47 (15.4)	5 (20.0)	2,232 (35.5)
mixi(ミクシイ)を利用したことがある	221 (54.2)	1,550 (62.3)	1,213 (54.2)	346 (42.3)	83 (27.1)	5 (20.0)	3,418 (54.4)
ゲイのエロ系SNSを利用したことがある	175 (42.9)	1,044 (42.0)	941 (42.1)	322 (39.4)	85 (27.8)	8 (32.0)	2,575 (41.0)
東京新木場のageha(アゲハ)に行ったことがある	4 (1.0)	194 (7.8)	130 (5.8)	22 (2.7)	9 (2.9)	3 (12.0)	362 (5.8)

表15. HIV抗体検査受検割合(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
過去1年間のHIV抗体検査受検状況	53 (13.0)	570 (22.9)	556 (24.9)	187 (22.9)	49 (16.0)	3 (12.0)	1,418 (22.6)
これまでのHIV抗体検査受検状況	66 (16.2)	924 (37.1)	1,162 (51.9)	432 (52.8)	127 (41.5)	6 (24.0)	2,717 (43.3)

表16. 過去1年間にHIV抗体検査の受検経験がある者における検査場所(年齢階級別)

	10代 n=53	20代 n=570	30代 n=556	40代 n=187	50代以上 n=49	無回答 n=3	全体 n=1,418
保健所	29 (54.7)	245 (43.0)	204 (36.7)	49 (26.2)	10 (20.4)	0 (0)	537 (37.9)
病院や医院	8 (15.1)	128 (22.5)	160 (28.8)	66 (35.3)	17 (34.7)	0 (0)	379 (26.7)
南新宿検査・相談室	4 (7.5)	53 (9.3)	62 (11.2)	25 (13.4)	5 (10.2)	1 (33.3)	150 (10.6)
大阪の土曜常設検査(CHARM)	2 (3.8)	17 (3.0)	9 (1.6)	5 (2.7)	2 (4.1)	0 (0)	35 (2.5)
夜間検査	1 (1.9)	21 (3.7)	16 (2.9)	10 (5.3)	0 (0)	0 (0)	48 (3.4)
土曜検査	4 (7.5)	16 (2.8)	10 (1.8)	2 (1.1)	0 (0)	0 (0)	32 (2.3)
休日検査	0 (0)	19 (3.3)	23 (4.1)	8 (4.3)	1 (2.0)	0 (0)	51 (3.6)
HIV検査イベント	2 (3.8)	28 (4.9)	40 (7.2)	16 (8.6)	4 (8.2)	0 (0)	90 (6.3)
自宅検査キット	3 (5.7)	22 (3.9)	27 (4.9)	7 (3.7)	2 (4.1)	0 (0)	61 (4.3)
その他	0 (0)	11 (1.9)	9 (1.6)	1 (0.5)	0 (0)	0 (0)	21 (1.5)

表17. これまでにHIV抗体検査の受検経験がある者における検査場所(年齢階級別)

	10代 n=66	20代 n=924	30代 n=1,162	40代 n=432	50代以上 n=127	無回答 n=6	全体 n=2,717
保健所 p<.001	42 (63.6)	529 (57.3)	603 (51.9)	180 (41.7)	48 (37.8)	2 (33.3)	1,404 (51.7)
病院や医院 p<.001	14 (21.2)	254 (27.5)	408 (35.1)	178 (41.2)	60 (47.2)	1 (16.7)	915 (33.7)
南新宿検査・相談室 p=.008	6 (9.1)	121 (13.1)	211 (18.2)	79 (18.3)	15 (11.8)	1 (16.7)	433 (15.9)
大阪の土曜常設検査(CHARM) p=.564	4 (6.1)	35 (3.8)	39 (3.4)	19 (4.4)	2 (1.6)	0 (0)	99 (3.6)
夜間検査 p=.100	2 (3.0)	36 (3.9)	54 (4.6)	25 (5.8)	0 (0)	0 (0)	117 (4.3)
土曜検査 p=.008	5 (7.6)	24 (2.6)	23 (2.0)	5 (1.2)	0 (0)	0 (0)	57 (2.1)
休日検査 p=.245	2 (3.0)	47 (5.1)	61 (5.2)	14 (3.2)	2 (1.6)	0 (0)	126 (4.6)
HIV検査イベント p=.044	6 (9.1)	66 (7.1)	114 (9.8)	44 (10.2)	4 (3.1)	0 (0)	234 (8.6)
自宅検査キット p=.139	4 (6.1)	48 (5.2)	66 (5.7)	15 (3.5)	2 (1.6)	1 (16.7)	136 (5.0)
その他 p=.466	2 (3.0)	23 (2.5)	36 (3.1)	12 (2.8)	0 (0)	0 (0)	73 (2.7)

表18. 性感染症既往歴(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
過去1年間に性感染症既往歴あり p<.001	6 (1.5)	197 (7.9)	233 (10.4)	72 (8.8)	17 (5.6)	0 (0)	525 (8.4)
これまでに性感染症既往歴あり p<.001	9 (2.2)	423 (17.0)	692 (30.9)	304 (37.2)	77 (25.2)	3 (12.0)	1,508 (24.0)

表19. 過去1年間の性感染症既往歴(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
梅毒 p=.026	2 (0.5)	24 (1.0)	40 (1.8)	15 (1.8)	1 (0.3)	0 (0)	82 (1.3)
A型肝炎 p=.013	1 (0.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
B型肝炎 p=.081	1 (0.2)	28 (1.1)	33 (1.5)	7 (0.9)	0 (0)	0 (0)	69 (1.1)
淋菌感染症 p=.763	2 (0.5)	17 (0.7)	13 (0.6)	4 (0.5)	0 (0)	0 (0)	36 (0.6)
HIV感染症 p=.463	1 (0.2)	30 (1.2)	31 (1.4)	8 (1.0)	3 (1.0)	0 (0)	73 (1.2)
クラミジア p=.374	2 (0.5)	27 (1.1)	34 (1.5)	12 (1.5)	2 (0.7)	0 (0)	77 (1.2)
尖圭コンジローマ p=.781	1 (0.2)	16 (0.6)	17 (0.8)	4 (0.5)	1 (0.3)	0 (0)	39 (0.6)
アメーバ赤痢 p=.339	1 (0.2)	1 (0)	4 (0.2)	3 (0.4)	0 (0)	0 (0)	9 (0.1)
その他 p=.050	1 (0.2)	24 (1.0)	6 (0.3)	4 (0.5)	2 (0.7)	0 (0)	37 (0.6)

表20. これまでの性感染症既往歴(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
梅毒 p<.001	2 (0.5)	113 (4.5)	239 (10.7)	131 (16.0)	28 (9.2)	1 (4.0)	514 (8.2)
A型肝炎 p<.001	1 (0.2)	5 (0.2)	27 (1.2)	18 (2.2)	1 (0.3)	0 (0)	52 (0.8)
B型肝炎 p<.001	2 (0.5)	99 (4.0)	168 (7.5)	62 (7.6)	12 (3.9)	1 (4.0)	344 (5.5)
淋菌感染症 p<.001	4 (1.0)	74 (3.0)	110 (4.9)	60 (7.3)	23 (7.5)	1 (4.0)	272 (4.3)
HIV感染症 p<.001	1 (0.2)	56 (2.3)	95 (4.2)	39 (4.8)	8 (2.6)	0 (0)	199 (3.2)
クラミジア p<.001	5 (1.2)	93 (3.7)	161 (7.2)	74 (9.0)	10 (3.3)	0 (0)	343 (5.5)
尖圭コンジローマ p<.001	2 (0.5)	52 (2.1)	120 (5.4)	39 (4.8)	5 (1.6)	0 (0)	218 (3.5)
ア메ーバ赤痢 p<.001	1 (0.2)	8 (0.3)	26 (1.2)	18 (2.2)	4 (1.3)	0 (0)	57 (0.9)
その他 p=.007	1 (0.2)	81 (3.3)	80 (3.6)	35 (4.3)	9 (2.9)	0 (0)	206 (3.3)

表21. HIV感染の身近感(年齢階級別)

	10代 n=408	20代 n=2,488	30代 n=2,237	40代 n=818	50代以上 n=306	無回答 n=25	全体 n=6,282
自分の身の回りにHIVに感染している人がいる p<.001	20 (4.9)	325 (13.1)	537 (24.0)	215 (26.3)	40 (13.1)	1 (4.0)	1,138 (18.1)
自分の身の回りにHIV以外の性感染症に感染したことがある友達がいる p<.001	62 (15.2)	822 (33.0)	905 (40.5)	330 (40.3)	60 (19.6)	3 (12.0)	2,182 (34.7)
自分もHIVに感染する可能性があると思う p<.001	230 (56.4)	1,460 (58.7)	1,263 (56.5)	428 (52.3)	91 (29.7)	8 (32.0)	3,480 (55.4)
HIVに感染している場合、コンドームを使ってセックスすれば予防できるので、セックスしても問題ないと思う p<.001	76 (18.6)	409 (16.4)	538 (24.1)	231 (28.2)	76 (24.8)	3 (12.0)	1,333 (21.2)
自分がHIVに感染している場合、そのことをセックスの相手に言うと思う p<.001	207 (50.7)	1,212 (48.7)	920 (41.1)	341 (41.7)	120 (39.2)	5 (20.0)	2,805 (44.7)
HIVに感染していることを、セックスの相手に言うことは難しいことだと思う p<.001	306 (75.0)	1,707 (68.6)	1,466 (65.5)	506 (61.9)	183 (59.8)	15 (60.0)	4,183 (66.6)